



うさぎだより

中野区議会議員 ● 無所属

佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001 中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野4-8-1 無所属控室 TEL.3228-8874
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail:usagidayori@hotmail.com 編集・発行:住民自治をすすめる政策研究会

後期高齢者医療制度をめぐる国会の動きを見ると、政策をつくる役割の重さをあらためて痛感します。介護保険制度が始まった二〇〇〇年、国会は、老人保健制度にかわる新たな高齢者医療制度を、早急につくる必要があると決議をあげています。八年たってようやく新しくできた高齢者医療制度は、さまざまな問題点が指摘され、追及する側からも対案が出ていない状況にあります。医療の現場は休まず続いています。制度を廃止するだけでは解決しません。より良い医療制度に向けた政策提案が必要とされています。地域では医療的ケアの必要性が大きくなってきています。医療と福祉が連携した地域ケアを充実していくために、がんばりたいと思います。

議員の仕事は政策づくり 医療と福祉が連携した地域ケアを

第2回定例会 一般質問

後期高齢者医療制度について区長の考えは?

佐藤 若い世代の人口が少なくなり、高齢者人口が増加する中で、高齢者の医療を支えるための新たな医療制度は必要です。しかし、新しくできた後期高齢者医療制度は、負担は公平なのか、必要な人の医療までが制限されるのではないかなど、さまざまな問題点がある。

一つは、低所得者ほど保険料負担が重くなる人が多い問題である(後で国から軽減策が出

た。また、個人単位と世帯単位が入り交じっている点も問題。保険料は個人単位の負担になるのに、保険料の軽減は世帯単位で行われるので、例えば家族の所得が多い場合は、自分の年金額が少なくても、保険料が軽減されない。

二つ目は、75歳で分けた診療報酬の問題。4月の診療報酬の改定で、後期高齢者用に新たに設定された「診療料」や「終末期相談支援料」などの問題。見直すべきだ。(終末期相談支援料は反対を受け凍結された。)

中野区として東京都広域連合に対して、どのような意見や

要望を出したのか。また、東京都広域連合は国に対して、どのような意見や要望を出したのか。

後期高齢者医療制度の廃止法案(参議院で可決)が出された時の、新聞各社の社説はどれも、「よりよい制度づくりに向けて、建設的な議論をすること」を求めている。区長は、後期高齢者医療制度の問題点や改善点について、どのように考えているのか。高齢者を支える医療制度については、どのような方向性が望ましいと考えているのか。

区長 よりよい改善があるということであれば、検討していくべき。区は広域連合の一員として、さまざまに発言をし、充実に努めてきた。広域連合は、国に対して調整交付金の確保

国庫負担金の十分な交付、保健事業への財政支援継続及び国民への制度周知を内容とする要望を行っている。

現役世代と高齢者世代の負担の公平に配慮すること、また、高齢者が安心して十分な医療を受けられる国民皆保険制度をしっかりと維持することが大事だ。低所得者対策のさらなる充実や医療給付において指摘されている問題など、国全体で議論をして、持続可能なよりよい制度にしていく必要がある。

この間、後期高齢者医療制度について、区民の方々の声を聞いたり相談を受けた。一番の要望は、制度をわかりやすく知らせたいということ。次は、負担を軽くしてほしいという声だ。

2年半前に策定された10カ年計画もう見直し!?

(4面に10カ年計画の現在の施設計画地図)

2006年1月に策定された「新しい中野をつくる10カ年計画(2005~2014年)」の見直しが始まる。現在は現計画の検証中で、来年2009年3月に計画素案を示す予定。1年間かけて区民と意見交換を行いながら、2010年2月に改定計画を決定するそう。これからの区民ニーズや財政状況をしつかり見定め、計画改定にあたるべきだ。区にどんな意見や提案を!

災害時の要援護者の支援を

佐藤 区内の障害者団体がつくる障害者防災委員会が主催して、3月に防災訓練が行われた。参加された区長の感想は？

取り組みをどう評価し、区の要援護者支援に生かすのか。内閣府からも、平常時から防災関係部局と福祉関係部局が連携した要援護者の支援体制を整備すること、災害時要援護者支援策について議論する場を持ち、要援護者支援の防災訓練を実施することなどが求められている。区としては、どのように取り組むのか。

区長 障害者防災委員会の活動は、自主的に訓練を実施し、安否確認やボランティアとの連絡調整など、問題点をみずから確認してきた。講演会や研修会なども実施しており、大変評価をしている。そうした訓練等で確認できた課題や問題点などを対策に生かしていきたい。

日常的な生活支援の仕組みが災害時にも機能する支援体制となるよう、保健福祉部の各担当と連携をしている。支え合いネットワークの中でも情報共有の仕組みを検討している。

アポロ園の建てかえに利用者の声を

佐藤 障がいのある幼児の通園施設アポロ園が2年後に建てかえられ民間法人に委託される。どういう状態の幼児が利用するのかをきちんと把握し、保護者や現場の職員の意見をよく聞き、設計に当たることが必要だ。医療的ケアが必要なお子さんが多く入園するようになってきた。民間法人への運営委託に当たっては、看護師の追加配置を図るなど、職員体制の充実と、引き継ぎ期間を十分にとり移行すべきだ。

子ども家庭部長 利用者への説明会やアンケートの実施により、要望の把握に努めている。利用者や職員にとつて使い勝手のよい施設となるよう努めていく。たんの吸引など医療的ケアについては、人員体制も含め、個別の対応がどこまで可能か検討していく。引き継ぎは、今年度中に事業者を選定し、段階的な引き継ぎを開始する予定。保護者などの意見を伺いながら、丁寧な引き継ぎに努める。



あけぼの学園を見学。医療的ケアを必要とする幼児の車椅子。機器を積み大きい。

受動喫煙の防止 駅前喫煙所の移動を

佐藤 「子どもをたばこから守るために」と、区は受動喫煙の防止を訴えているが、中野駅北口、南口の喫煙所付近で、歩行者が受動喫煙の被害を受けている。南口の喫煙所は、車いす利用者用のタクシー降車場のすぐそばにあり、体の弱い高齢者や障がい者が降車場を利用できないと苦情が寄せられている。喫煙所を早急に移動するべきだ。

区長 駅広場の中で移動先が見つけられなくて苦慮している。今後とも関係機関と調整をしていく。

厚生委員会の議題から

議案を可決

- * 生活安定応援事業の実施
- * 後期高齢者入院時負担軽減事業の実施
- * 本郷保育園仮園舎へ移転
- * 塔山児童館廃止、塔山小にキッズプラザと学童クラブ
- * 療育センターアポロ園の改築計画と運営事業者募集
- * (仮)次世代育成委員の新設
- * 障がい児の義務教育通学等支援事業(送迎)開始
- * 障害者自立支援協議会
- * 東中野小の暫定活用案

- * 江古田の森保健福祉施設の業務改善報告
- * 新井保育園の事業者決定
- * 南江古田保育園事業者募集
- * チャレンジ支援貸付事業
- * 路上生活者新型自立支援センター設置の検討委員会
- * 商工会館、6中跡の活用方法の変更について
- * 後期高齢者保険料の新たな軽減策等について

傍聴してね!

◆ 次の議会は ◆
 9月24日(水)〜10月24日(金)
 傍聴切は10月10日(金)

上野原スポーツ施設用地 やつと売却

17年前、私が初めて議員になった時に、取り上げた問題。当時マスコミでも大問題になった佐川急便事件にも関わる不透明な土地の取得に、一貫して反対してきた。財政問題、地盤の問題など様々な角度から追求してきたが、当時、共産党から自民党まで全ての政党派が賛成して、山梨県の上野原の山林用地が11億円の予算をか

けて取得された。このままでは、施設建設に一〇〇億円以上、毎年2億円もの維持費がかかる。計画の廃止を訴えた。6年前に区長を変えて、ようやく計画がストップ。今回、上野原市に二億三千万円で売却が決定。10億円の損失の代償は大きい。バブルに踊った計画や土地取得を私達は二度としてはならない。売却議案は全会一致で可決。

1993年うさぎたより10号
 上野原土地購入に反対

佐藤ひろこの活動日誌から

- 4月
 3 立命館大学大学院先端総合学術研究科博士課程3年次入学
 7 谷戸小学校入学式/ももそのデイクラブ
 8 社会民主主義と福祉政策一介護 NPOの実践から
 9 中入学式
 10 ほのほのファミリー合唱団/立教ジャズフェスティバル
 11 後期高齢者医療制度地域説明会
 13 住民自治をすすめる会「これからの中野区政」中野区長
 14 子育て支援について区民の方と情報交換
 15 「瀬峡のアリア」田月仙さんと/手話講習会開講式
 16 虹と緑「国一地方」政策研究会
 17 障害者防災委員会
 18 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟大会
 19 生活クラブ班会議/ふえみんの中野北支部集まり
 20 陽だまりの丘保育園落成披露式典
 22 入札制度改革についてのヒヤリング
 24 土地取得手続きについてのヒヤリング
 26 はなみずき音楽祭/立教大学院自主ゼミ
 30 厚生委員会
 5月
 1 立教大学院にてコミュニティ政策研究会の立ち上げ
 8 特例子会社サックスステップ見学
 9 谷戸運動公園浸水対策立坑設置工事説明会
 11 共育を考える会の杉山真理伊さん葬儀
 12 丸山小学校肢体不自由児たんぽぽ学級見学
 14 堺市ユニバーサルデザインガイドライン視察
 15 自治体議会政策学会 in 大阪
 17 合同水防演習/江古田の森春まつり/よりあいバザー
 20 療育センター「アポロ園」親の会と懇談
 21 中小企業退職金共済会理事会/タッチの会
 24 9中体育祭/花と緑の祭典
 25 絆社公開研修会/東京の日本語学級を考える集い
 26 補正予算内示/厚生委員会
 31 立教大学院自主ゼミで発表/中村ゼミ同窓会
 6月
 1 可搬ポンプ操法大会/谷戸小運動会
 2 ももそのデイクラブ
 4~6 本会議 佐藤ひろこの質問
 7 福祉社会学会/ボランティア学会カフェ連
 8 伝統工芸展/スマイル福祉まつり
 10 9中前信号機移設を中野一丁目町会で区長に要望
 10・11 厚生委員会
 13 防災まちづくり特別委員会/中野区商店街連合会セミナー
 14 環境まつり
 15 DPI 日本会議全国集会在 岩手
 17 本会議
 18 東京朝鮮第9初級学校授業見学
 19 さくら会(童謡唱歌)/びよびよひろば見学
 21 NPOが変える社会サービスの未来研究会
 22 NPO 法人ねこの手絵会
 7月
 5 障害者防災委員会「災害時の要援護者支援」
 7・8 厚生委員会視察 仙台市発達相談支援センターアーチル等
 9 羊の会
 11 江古田の森 ALS モデル事業で厚生労働省と
 中野消防団第4分団優勝祝賀会
 12 住民自治をすすめる会「医療と介護どうなるの？」
 立教大学院公開講演会「首都圏の防災対策」
 チバリョーなかの「イラクの子ども達支援現地報告」
 13 ポイ捨て歩行喫煙防止キャンペーン
 15 虹と緑「国一地方」政策研究会/中野医師会懇親会
 18 立教大学院公開講演会/障害者政策研実行委員会
 19 「母よ殺すな」の瀬さん映像上映会/小田美さんを偲ぶ会
 20 世田谷区昭和女子大学内子育てステーション見学
 22 タッチの会/てくてくてく
 23 知的障害者施設滝乃川学園「筆子その愛」映画鑑賞
 25 障害者の政治参加をすすめるネットワーク新潟大会
 27 厚生委員会
 28 障害者福祉事業団納涼のついで
 30 中野区政勉強会で後期高齢者医療制度について報告

5月8日

障がい者雇用をすすめる
特例子会社を見学

中野区にまだ1つだけ
しかない特例子会社サックス
ステップに区民の方々と見学に
いった。

人材派遣会社テンプスタッ
フが親会社で17年ほどの実績
がある。視覚、身体、知的、聴覚
とさまざまな障がいをもち
方々が、いろいろな仕事をして
いる。障がいの働く場がもつ
と増えてほしい。(来年、商工会
館の1階を区が株式会社に貸し
て、区内二つ目の特例子会社が開

6月15日

盛岡で障がい福祉政策を
学ぶ

設される予定。国際交流協会はも
みじ山文化センターに移る。)

14日朝、大きな地震が岩
手・宮城県を襲う。心配しなが
ら翌日、岩手県盛岡市で行なわ
れるDPI日本会議全国集會
に行く。テーマは「地域で共に
学び、暮らせる社会へくおでん
せー岩手」。内閣府参事官と
東弁護士から「障害者の権利条
約と障害者基本法の見直し」の

7月20日

小田美さんを偲んで

報告。「障害者差別禁止法と自
治体条例の制定」のシンポで
は、千葉県の条例制定の報告か
ら、企業経営者など様々な人達
が一緒に議論していくことの
必要性を学ぶことができた。

1年前に亡くなられた作
家「小田実の文学と市民運
動を語り考えるついで」が開か
れた。小田さんと阪神大震災被
災者支援の「市民一議員立法運
動」に取り組んだ縁で司会を担
当。多くの方々が小田さんにつ
いて語った。「疲れたら休め」べ
平連のビラにあった私の好きな
言葉だ。一人一人のやり方と
いう市民運動のスタイルをつ

住民自治をすすめる政策研究会 2007年度政務調査費収支報告

1 収入(議員1人15万円×11ヶ月)	
政務調査費	1,650,000円
2 支出	
研究研修費	163,817円
調査旅費	63,338円
資料費	202,762円
広報費	770,911円
人件費	73,200円
事務費	105,639円
合計	1,379,667円
3 残額(区に返金)	270,333円



くつた小田さんの功績は大きい。

佐藤ひろこの収支報告

2008年4月~7月

	4月	5月	6月	期末手当	7月
収入	647,000	647,000	647,000	1,547,947	647,000
支出	30,000	3,000	6,000	0	21,000
支	76,760	76,760	82,160	257,745	81,160
年金・保険	108,100	108,100	176,100	116,025	176,100
活動費	84,598	60,967	76,063	500,000	77,883
出積み立て	30,000	3,000	6,000	0	21,000
残	¥377,542	¥401,173	¥312,677	¥674,177	¥311,857

* 議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。なくすべきだ。区への返金は法的にできないので、積み立て、区外の団体に寄付をしている。今回の積立金6万円は、ミャンマー・サイクロン、中国四川省大地震、岩手・宮城地震への義援金と、「アラブの子どもとなかよくする会」に寄付をした。

「新しい中野をつくる10カ年計画」2008年現在の施設計画の状況

福祉サービス

- * すこやか福祉センター4カ所新設
保健福祉センターなど福祉サービスの拠点を再編後の学校施設に。
 - * 高齢者向け賃貸住宅40戸を500戸に増
 - * 在宅生活を支える多機能型介護施設9カ所新設
通所や一時宿泊もできる施設を再編後の区施設に。
 - * 認知症グループホーム14ヶ所誘導
 - * 障害者グループホーム10ヶ所誘導
- ## 子育て支援
- * 地域子ども家庭支援センター4ヶ所新設
 - * 民営化で建替え保育園6ヶ所
 - * 区立幼稚園を私立認定こども園に転換2ヶ所

- * 小学校施設を活用したキッズプラザの展開
- * 母子生活支援施設の建替え

区民活動支援

- * 15ヶ所の区民活動センター 2009年7月開設
現在の地域センターを区民活動の場として継続。
出張所機能は5ヶ所の地域総合窓口を集約。
- * 地域スポーツクラブ2ヶ所新設
- * 文化芸術活動の拠点1ヶ所新設
- * 産業・創業支援の拠点2ヶ所新設

防災公園の整備

- 北部防災公園・警大跡地防災公園・南部防災公園・本町5丁目NTT社宅跡地



- 保育園(建て替え)
- 認定こども園
- 防災公園
- すこやか福祉センター
- 区民活動センター
- 小学校
- 中学校
- 福祉施設
- 地域総合窓口
- 用途未定

小・中学校再編計画前期

2008年	桃三小+桃丘小+仲町小	桃花小
	第六中+第十一中	緑野中
2009年	昭和小+東中野小	白桜小
	第一中+富士見中	南中野中
2011年	丸山小+沼袋小	丸山小に統合新校
	野方小+沼袋小	野方小に統合新校
2013年	中央中+第九中	中央中近隣に統合新校

小・中学校再編計画の後期分は2008年度中に策定予定。

